



試験概要

1 令和 7 年度大学入学共通テストの主な変更点

令和 4 年 4 月に高等学校に入学した者から、平成 30 年 3 月に告示された高等学校学習指導要領に基づく新しい教育課程の下で学んでいます。このことから、令和 7 年度大学入学共通テストも、新しい教育課程に対応した試験となります。詳しくは、この「受験案内」のほか、大学入試センターのホームページ（→裏表紙）に掲載している問題作成方針、問題冊子の表紙及び解答用紙の様式等を確認してください。

(1) 「新教育課程履修者」と「旧教育課程履修者等」

新教育課程履修者 (新課程履修者)	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に令和 4 年 4 月に入学し、平成 30 年告示高等学校学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和 7 年 3 月に卒業見込みの者 ② 中等教育学校の後期課程に令和 4 年 4 月に進級し、平成 30 年告示高等学校学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和 7 年 3 月卒業見込みの者
旧教育課程履修者等 (旧課程履修者)	上記以外の者 ＊ 高等学校等卒業者、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第 3 学年修了者又は修了見込者、高等専修学校（文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。）修了者又は修了見込み者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を令和 7 年 3 月卒業見込みであるが入学は令和 4 年 3 月以前の者など上記に該当しない者

(2) 国語の出題方法、試験時間及び配点

国語は、近代以降の文章に大問を一つ追加し、試験時間は 90 分とします（10 分増加）。また、配点は、近代以降の文章が 3 問 110 点、古典が 2 問 90 点（古文・漢文各 45 点）とします（→p.5）。

(3) 地理歴史、公民の出題方法、登録方法等

① 地理歴史、公民は、『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『公共、倫理』『公共、政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』の合計 6 科目のうちから最大 2 科目を選択し、解答します（→p.5）。

なお、2 科目を選択する場合は、選択して解答することができない組合せがあります（→p.5）。

『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」「歴史総合」「公共」の三つを出題範囲とし、そのうち二つを選択解答します（配点は各 50 点）。解答する順序、時間配分は自由です。

② 受験する科目数は、出願時に登録する必要があります。

(4) 数学の出題方法、試験時間

数学②は、『数学Ⅱ、数学 B、数学 C』の 1 科目を出題し、試験時間は 70 分とします（10 分増加）。出題範囲にも変更があります（→p.5）。

(5) 理科の出題方法、登録方法等

① 理科は、令和 6 年度大学入学共通テストまでの二つの試験時間帯（理科①と理科②）を一つの試験時間帯に統合します。

② 従前の「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の 4 科目は、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』として一つの出題科目に統合し、『物理』『化学』『生物』『地学』と合わせて、合計 5 科目のうちから最大 2 科目を選択し、解答します（→p.5）。

『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の四つを出題範囲とし、そのうち二つを選択解答します（配点は各 50 点）。解答する順序、時間配分は自由です。

③ 受験する科目数は出願時に登録する必要があります。

(6) 情報を出題教科に追加

情報を、新たに出題教科として追加し、「情報Ⅰ」を出題します。試験時間は 60 分、配点は 100 点です（→p.5）。

(7) 得点調整

得点調整の実施条件・方法や、対象教科・科目に変更があります（→p.55）。

(8) 旧課程履修者に対する経過措置（→p.7）

令和 7 年度大学入学共通テストの全ての志願者は、新課程に基づく教科・科目の内容による試験を受験するのが原則ですが、旧課程を履修した者など、新課程を履修していない者に対し、次の①～④のとおりに経過措置を講じます。

旧課程科目を受験することができる者は、(1)に示す旧課程履修者のうち希望する者としします。(1)に示す新課程履修者は、旧課程科目を受験することはできません。

① 地理歴史、公民の出題方法等【旧課程履修者】

ア 新課程科目の 6 科目又は旧課程科目の 10 科目（『旧世界史 A』『旧世界史 B』『旧日本史 A』『旧日本史 B』『旧地理 A』『旧地理 B』『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』）から最大 2 科目を選択し、解答します。

なお、2 科目を選択する場合は、選択して解答することができない組合せがあります。

イ 受験する教育課程及び科目数は、出願時に登録する必要があります。新課程科目と旧課程科目を組み合わせて登録することはできません。

ウ 試験当日は、出願時に登録した教育課程及び科目数のみ受験可能です。試験当日にこれらを変更することはできません。

② 数学の出題方法等【旧課程履修者】

ア 数学①では、新課程科目の 2 科目（『数学Ⅰ，数学 A』『数学Ⅰ』）と旧課程科目の 2 科目（『旧数学Ⅰ・旧数学 A』『旧数学Ⅰ』）を合わせた 4 科目のうちから 1 科目を選択し、解答します。

イ 数学②では、新課程科目（『数学Ⅱ，数学 B，数学 C』）と旧課程科目の 4 科目（『旧数学Ⅱ・旧数学 B』『旧数学Ⅱ』『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』）を合わせた 5 科目のうちから 1 科目を選択し、解答します。試験時間は、新・旧課程科目ともに 70 分です。

なお、『旧簿記・会計』及び『旧情報関係基礎』の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に登録する必要があります。

ウ 数学①と数学②で新・旧の異なる教育課程による出題科目を解答することができます（→p.27 Q10）。

③ 理科の出題方法等【旧課程履修者】

旧課程科目は出題しませんが、新課程科目において、旧課程履修者が選択可能な問題を出題する場合があります。

④ 情報の出題方法等【旧課程履修者】

新課程科目（『情報Ⅰ』）と旧課程科目（『旧情報』）を合わせた 2 科目のうちから 1 科目を選択し、解答します。

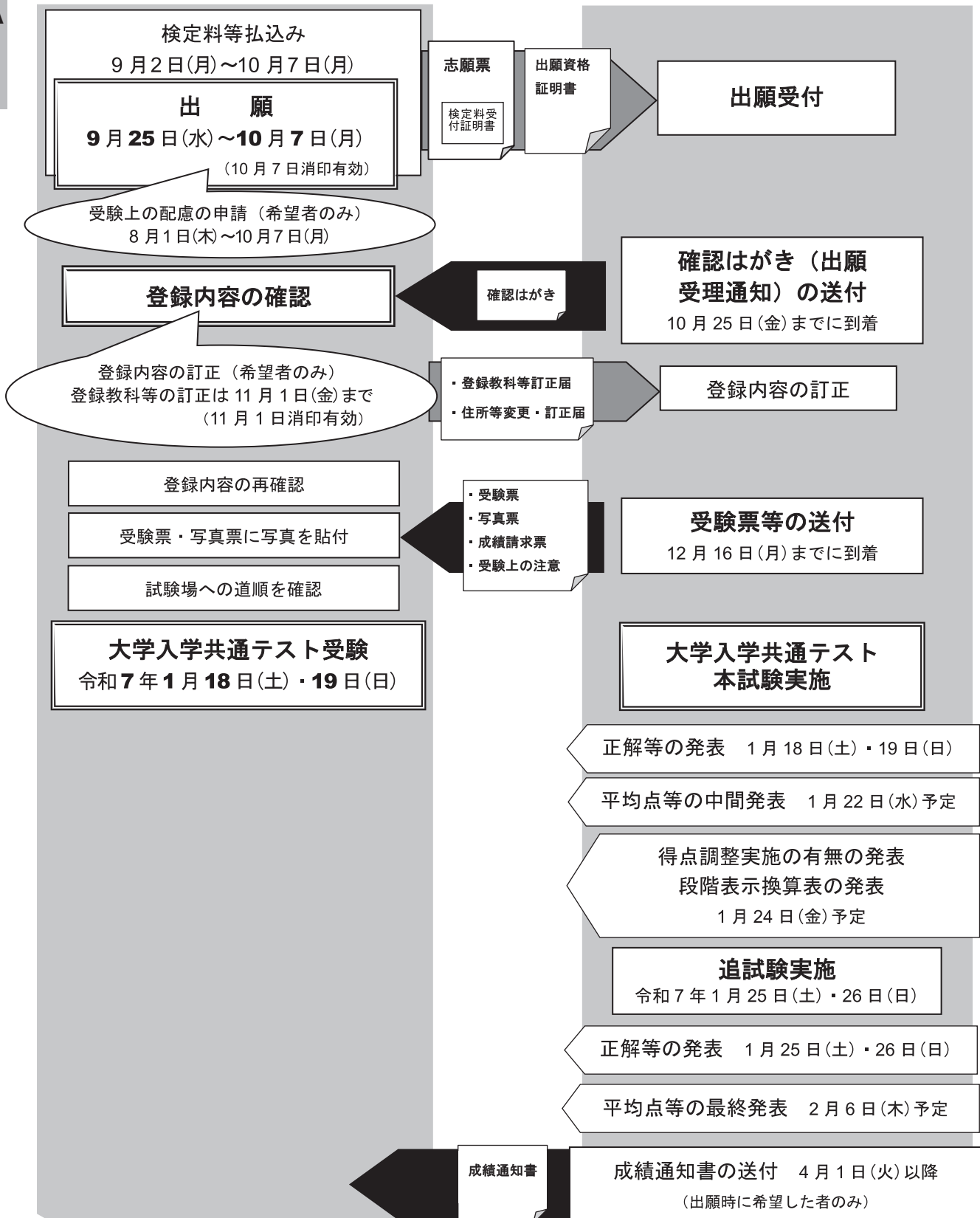
『旧情報』の出題範囲は、旧課程の科目である「社会と情報」と「情報の科学」の内容としします。両科目の共通部分に対応した必答問題に加え、「社会と情報」及び「情報の科学」のそれぞれに対応した選択問題を出題します。どちらの問題を選択解答するかは、受験者自身の判断となります。

なお、「社会と情報」又は「情報の科学」のどちらの科目を履修していたか分からない場合は、在籍していた高校に確認してください。

2 令和7年度大学入学共通テスト実施日程

〔志願者〕

〔大学入試センター〕



3 出題教科・科目等

(1) 出題教科・科目等

教科	グループ	出題科目	出題方法 (出題範囲, 出題科目選択の方法等) 出題範囲について特記がない場合, 出題科目名に含まれる学習指導要領の科目の内容を総合した出題範囲とする。	試験時間 (配点)
国語		『国語』	「現代の国語」及び「言語文化」を出題範囲とし, 近代以降の文章及び古典 (古文, 漢文) を出題する。	90 分(200 点) (注1)
地理歴史		『地理総合, 地理探究』 『歴史総合, 日本史探究』 『歴史総合, 世界史探究』 『公共, 倫理』 『公共, 政治・経済』	- 左記出題科目の 6 科目のうちから最大 2 科目を選択し, 解答する。 (a) の『地理総合/歴史総合/公共』は, 「地理総合」「歴史総合」「公共」の三つを出題範囲とし, そのうち二つを選択解答する (配点は各 50 点)。 2 科目を選択する場合, 以下の組合せを選択することはできない。 (b) のうちから 2 科目を選択する場合 『公共, 倫理』と『公共, 政治・経済』の組合せを選択することはできない。 (b) のうちから 1 科目及び(a)を選択する場合 (b)については, (a)で選択解答するものと同一名称を含む科目を選択することはできない (注2)。 - 受験する科目数は出願時に申し出ること。	1 科目選択 60 分(100 点) 2 科目選択 130 分 (注3) (うち解答時間 120 分) (200 点)
公民		『地理総合/歴史総合/公共』 →(a) (a): 必修科目を組み合わせ た出題科目 (b): 必修科目と選択科目を 組み合わせた出題科目		
数学	①	『数学Ⅰ, 数学A』 『数学Ⅰ』	- 左記出題科目の 2 科目のうちから 1 科目を選択し, 解答する。 「数学A」については, 図形の性質, 場合の数と確率の 2 項目に対応した出題とし, 全てを解答する。	70 分(100 点)
	②	『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	「数学B」及び「数学C」については, 数列 (数学B), 統計的な推測 (数学B), ベクトル (数学C) 及び平面上の曲線と複素数平面 (数学C) の 4 項目に対応した出題とし, 4 項目のうち 3 項目の内容の問題を選択解答する。	70 分(100 点)
理科		『物理基礎/化学基礎/ 生物基礎/地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』	- 左記出題科目の 5 科目のうちから最大 2 科目を選択し, 解答する。 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は, 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の四つを出題範囲とし, そのうち二つを選択解答する (配点は各 50 点)。 - 受験する科目数は出願時に申し出ること。	1 科目選択 60 分(100 点) 2 科目選択 130 分 (注3) (うち解答時間 120 分) (200 点)
外国語		『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	- 左記出題科目の 5 科目のうちから 1 科目を選択し, 解答する。 『英語』は「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「論理・表現Ⅰ」を出題範囲とし, 【リーディング】及び【リスニング】を出題する。受験者は, 原則としてその両方を受験する。その他の科目については, 『英語』に準じる出題範囲とし, 【筆記】を出題する。 - 科目選択に当たり, 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』の問題冊子の配付を希望する場合は, 出願時に申し出ること。	『英語』 【リーディング】 80 分(100 点) 【リスニング】 60 分 (注4) (うち解答時間 30 分) (100 点) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 【筆記】 80 分(200 点)
情報		『情報Ⅰ』		60 分(100 点)

試験概要 A

(備考) 『 』は大学入学共通テストにおける出題科目を表し, 「 」は高等学校学習指導要領上設定されている科目を表します。

また, 『地理総合/歴史総合/公共』や『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』にある“/”は, 一つの出題科目の中で複数の出題範囲を選択解答することを表します。

- (注1) 『国語』の分野別の大問数及び配点は、近代以降の文章が3問110点、古典が2問90点（古文・漢文各45点）とします。
- (注2) 地理歴史及び公民で2科目を選択する受験者が、(b)のうちから1科目及び(a)を選択する場合において、選択可能な組合せは以下のとおりです。
- ・(b)のうちから『地理総合、地理探究』を選択する場合、(a)では「歴史総合」及び「公共」の組合せ
 - ・(b)のうちから『歴史総合、日本史探究』又は『歴史総合、世界史探究』を選択する場合、(a)では「地理総合」及び「公共」の組合せ
 - ・(b)のうちから『公共、倫理』又は『公共、政治・経済』を選択する場合、(a)では「地理総合」及び「歴史総合」の組合せ

[参考]地理歴史及び公民において、(b)のうちから1科目及び(a)を選択する場合に選択可能な組合せについて
○：選択可能 ×：選択不可

		(a)		
		「地理総合」 「歴史総合」	「地理総合」 「公共」	「歴史総合」 「公共」
(b)	『地理総合、地理探究』	×	×	○
	『歴史総合、日本史探究』	×	○	×
	『歴史総合、世界史探究』	×	○	×
	『公共、倫理』	○	×	×
	『公共、政治・経済』	○	×	×

- (注3) 地理歴史及び公民並びに理科の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行いますが、第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とします。
- (注4) 【リスニング】は、音声問題を用い30分間で解答を行いますが、解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とします。
なお、『英語』以外の外国語を受験した場合、【リスニング】を受験することはできません。

(2) 旧課程履修者に対する経過措置

令和7年度大学入学共通テストの全ての志願者は、新課程に基づく教科・科目の内容による試験を受験するのが原則ですが、旧課程履修者のうち希望する者は、次ページの(3)のとおり経過措置により受験することができます。

なお、新課程履修者は、この旧課程科目を選択解答することはできません。

(3) 旧課程履修者に対する出題教科・科目等

教科	グループ	新課程科目	旧課程履修者に対する経過措置		
			旧課程科目	出題方法 (出題範囲、出題科目選択の方法等)	試験時間 (配点)
国語		『国語』	なし	—	—
地理歴史		『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 『公共、倫理』 『公共、政治・経済』 『地理総合／歴史総合／公共』	『旧世界史A』 『旧世界史B』 『旧日本史A』 『旧日本史B』 『旧地理A』 『旧地理B』	次のア、イのいずれかを選択し、解答する。 ア 新課程科目の6科目のうちから最大2科目を選択し、解答する。選択できない組合せについては(1)出題教科・科目等(→p.5)を参照のこと。 イ 旧課程科目の10科目のうちから最大2科目を選択し、解答する。ただし、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない(注1)。 新課程科目と旧課程科目を組み合わせで選択することはできない。 なお、ア、イのいずれを選択するか及び受験する科目数については出願時に申し出ること。	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分 (うち解答時間120分) (200点)
公民			『旧現代社会』 『旧倫理』 『旧政治・経済』 『旧倫理、旧政治・経済』		
数学	①	『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅰ』	『旧数学Ⅰ・旧数学A』 『旧数学Ⅰ』	新課程科目と旧課程科目を合わせた4科目のうちから1科目を選択し、解答する。	70分(100点)
	②	『数学Ⅱ、数学B、数学C』	『旧数学Ⅱ・旧数学B』 『旧数学Ⅱ』 『旧簿記・会計』 『旧情報関係基礎』	新課程科目と旧課程科目を合わせた5科目のうちから1科目を選択し、解答する。 なお、科目選択に当たり、『旧簿記・会計』及び『旧情報関係基礎』の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。	70分(100点) (注2)
理科		『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』	なし	新課程科目において、必要に応じて、旧課程履修者が選択可能な問題を出題する場合がある。	—
外国語		『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	なし	—	—
情報		『情報Ⅰ』	『旧情報』	新課程科目と旧課程科目を合わせた2科目のうちから1科目を選択し、解答する。 『旧情報』の出題範囲は、平成21年告示学習指導要領の「社会と情報」及び「情報の科学」の内容とする。なお、高等学校等において「社会と情報」「情報の科学」のいずれの科目を履修していても不利益が生じないよう、両科目の共通部分に対応した必答問題に加え、「社会と情報」に対応した問題及び「情報の科学」に対応した問題を出題し、選択解答させる。	60分(100点)

- 備考 1 『 』は大学入学共通テストにおける出題科目を表し、「 」は高等学校学習指導要領上設定されている科目を表します。
また、『地理総合／歴史総合／公共』や『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』にある“／”は、一つの出題科目の中で複数の出題範囲を選択解答することを表します。
- 2 地理歴史、公民、数学の旧課程科目の出題範囲については、「令和6年度大学入学選抜に係る大学入学共通テスト出題教科・科目の出題方法等」で示す出題方法等欄の内容と同様とします。

(注1) 「同一名称を含む科目の組合せ」とは、『旧世界史A』と『旧世界史B』、『旧日本史A』と『旧日本史B』、『旧地理A』と『旧地理B』、『旧倫理』と『旧倫理、旧政治・経済』及び『旧政治・経済』と『旧倫理、旧政治・経済』の組合せを指します。

(注2) 令和6年度大学入学選抜に係る大学入学共通テストにおいては、数学②の試験時間は60分でしたが、令和7年度大学入学選抜に係る大学入学共通テストにおいては、数学②の試験時間は旧課程科目も含めて70分です。

4 試験期日・試験時間割

試験期日	出題教科	出題科目	試験時間 (注 1, 2)
令和 7 年 1 月 18 日(土)	地理歴史 公民	『地理総合, 地理探究』 『歴史総合, 日本史探究』 『歴史総合, 世界史探究』 『公共, 倫理』 『公共, 政治・経済』 『地理総合／歴史総合／公共』(注 3) 『旧世界史 A』 『旧世界史 B』 『旧日本史 A』 『旧日本史 B』 『旧地理 A』 『旧地理 B』 『旧現代社会』 『旧倫理』 『旧政治・経済』 『旧倫理, 旧政治・経済』	2 科目受験 9:30～11:40 (注 4) 1 科目受験 10:40～11:40 (注 4)
		国 語	『国語』 13:00～14:30
	外 国 語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	『英語』 【リーディング】 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 【筆記】 15:20～16:40
			『英語』 【リスニング】 17:20～18:20
1 月 19 日(日)	理 科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／ 地学基礎』(注 3) 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』	2 科目受験 9:30～11:40 (注 4) 1 科目受験 10:40～11:40 (注 4)
	数 学 ①	『数学 I, 数学 A』 『数学 I』 『旧数学 I・旧数学 A』 『旧数学 I』	13:00～14:10
	数 学 ②	『数学 II, 数学 B, 数学 C』 『旧数学 II・旧数学 B』 『旧数学 II』 『旧簿記・会計』 『旧情報関係基礎』	15:00～16:10
	情 報	『情報 I』 『旧情報』	17:00～18:00

(注 1) 試験室への入室終了時刻については、受験票(→p.34)等を送付する際に同封する「**受験上の注意**」に明示します。

(注 2) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 20 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、リスニングは、試験開始時刻(17:20)までに入室していない場合は受験することができません。

(注 3) 『地理総合／歴史総合／公共』及び『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合は、試験時間 60 分で必ず二つの出題範囲を選択解答してください。解答する順序、時間配分は自由です。

(注 4) 「地理歴史, 公民」及び「理科」については、登録した科目数(1 科目又は 2 科目)によって試験開始時刻が異なります。「2 科目受験する」と登録した場合は、試験当日に 1 科目のみを受験する(1 科目だけ受験を取りやめる)ことはできません。このため、遅刻者の試験室への入室限度(9:50)までに入室していないと、後半の第 2 解答科目を含めて、その試験時間は一切受験することができません。また、第 1 解答科目のみ受験し、途中退室することもできません。

なお、第 1 解答科目と第 2 解答科目の間の 10 分間は、トイレ等で一時退室することはできません(→p.49)。